

社 会 科

まちの地図の見方 白地図を使った指導を充実させましょう

- 1 出題のねらい
地図の縮尺について、その意味と用途を理解している。
- 2 正答率が低い要因 (② (2) ② 正答率 26.2% 期待正答率 75.0%)
②については70%以上の児童が正しく記述できていない。縮尺記号への意識が低いことが要因と考えられる。
- 3 要因を踏まえた指導上の留意点 ※「わたしたちのまち仙台」P3、4、5を参照!
「学区探検」を行う際には**学区の白地図**を作成し、児童に配布しておきたい。白地図を作成する際や探検で見つけたことをまとめる際には吹き出しのような点について話し合い、活動を進めていきたい。これにより、**方位や地図記号、縮尺**への意識が高まると思われる。

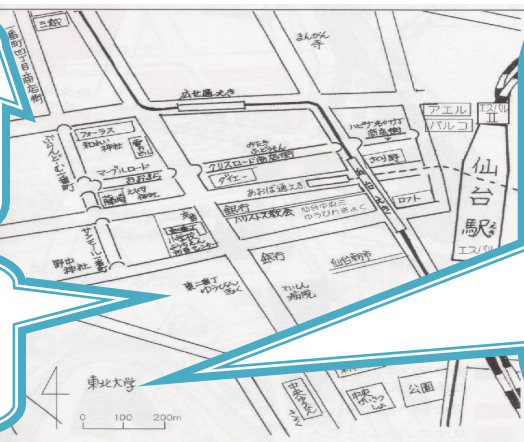
白地図の用意

- ・学校や近くにある建物を記入しましょう。
- ・大きな道路や線路を記入しましょう。

地図記号の記入

- ・主な建物、施設の地図記号を記入させてみましょう。

(わたしたちのまち仙台p5参照)



方位記号・縮尺記号

- ・地図上での方位や方位磁針の使い方を説明しましょう。
(学区探検に持たせるとよい。)
- ・縮尺記号は実際に距離を縮めていることにも触れましょう。

学区の白地図が社会科教材室などに準備してあると、町探検の際に役立つと思われる。また、見学後は、中心となる建物(学校など)を決め、そこを基に、主な建物との**位置関係**や**方位**を示しながら、土地や交通の様子などをとらえさせていきたい。縮尺については、4年生で学習するので簡単に触れる程度でよい。

店ではたらく人 視点をはっきりさせてから見学を行いましょう

- 1 出題のねらい
スーパーマーケットで働く人の話を読んで、それぞれの持ち場でどのような工夫をしているかを判断できる。
- 2 正答率が低い要因 (⑥ (2) ③④ 正答率 54.9% 期待正答率 70.0%)
スーパーマーケットで働く人の仕事内容が正しく理解できていない。見学の際、働く人へのインタビューで聞き取ったことを仕事内容や工夫という視点でまとめる活動が不足していたと考えられる。
- 3 要因を踏まえた指導上の留意点 ※「わたしたちのまち仙台」P19を参照!
見学の際には、働く人への聞き取りの他にも**次のような観点を示したワークシート**を用意しておき、店が行っている工夫を様々な角度からつかませていきたい。

店の外側の様子

- ・駐車場
- ・リサイクルコーナー
- ・看板 など

店の中の様子

- ・商品の並べ方、種類
- ・値札、産地表示
- ・品質管理 など

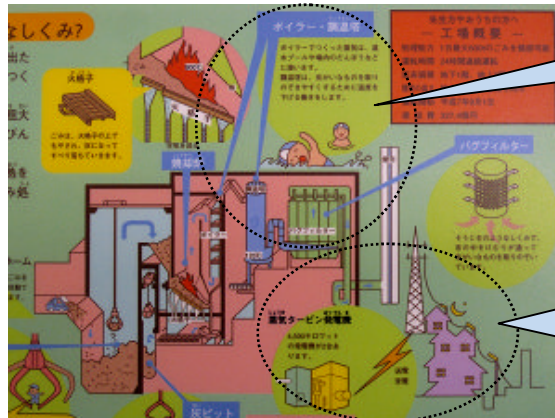
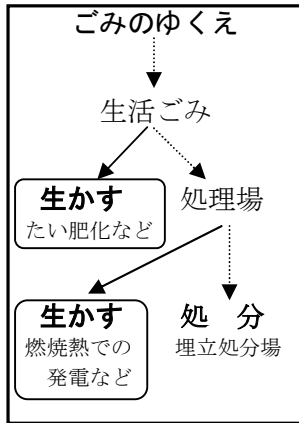
働く人の様子

- ・服装の様子
- ・仕事の内容
- ・仕事上の工夫 など

社会科

ごみのしまつと利用 家庭ごみを生かすことについての指導をしましょう

- 1 出題のねらい
清掃工場におけるエネルギーの有効利用取り組みについて考え判断できる。
- 2 正答率が低い要因 (② (3) 正答率 37.0% 期待正答率 55.0%)
60%以上の児童が正しく記述できていない。ごみが燃焼するときが発生する熱への関心が低いことが要因と考えられる。
- 3 要因をふまえた指導上の留意点
生活ごみの処理過程で発生する熱の有効利用については、見学や施設を利用するなどの体験活動や電気と自分たちとのかかわりを考えさせる学習も取り入れたい。学習のまとめでは、燃焼熱の発電や温水プールへの活用についても、しっかりと表現させ、エネルギーの有効利用を意識させたい。



- ・燃焼熱をプールの水を温めるのに利用しています。
- 燃焼熱の利用についても確認しましょう!**
- ・燃焼熱を発電に利用しています。
・作られた電気を自分たちも使っているかもしれません。

(写真：仙台市環境局施設部 葛岡工場 下敷き)

地形図の見方 地図記号、等高線を意識した指導を心掛けましょう

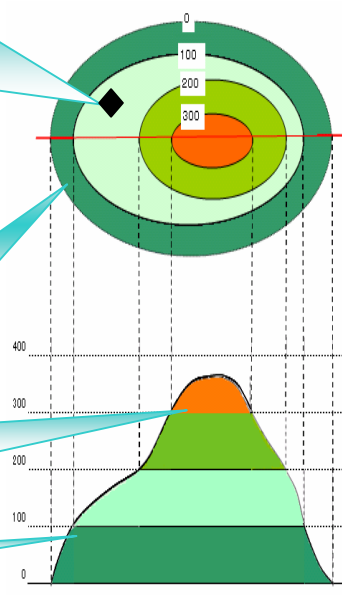
- 1 出題のねらい
地図上の方位と地図記号を読み取ることができる。
- 2 正答率が低い要因 (⑤ (1) 正答率 38.8% 期待正答率 70.0%)
50%近くが不正解で、12.9%が無回答であった。方位と地図記号、そして、等高線についてしっかり理解していないために正しく記述できない児童が多かったと考えられる。
- 3 要因をふまえた指導上の留意点
 - ①八方位を意識した指導・・・八方位を教室に掲示し日常的に活用できるようにする。
 - ②地図記号を意識した指導・・・3年生で学習した記号の確認、活用をして定着させる。
 - ③等高線を意識した指導・・・**下記参照**

「◆の場所は下のどこにあるかな?どんな坂道かな?」と児童が興味をもつ問いかけをしましょう。

等高線の間隔で傾斜の様子が分かります。(急・なだらか)

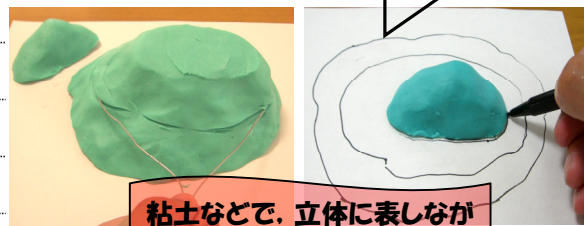
この場合、300mを超える高さになります。

模型の積極的な活用を。



○わたしたちの県
・副読本「わたしたちの宮城県」P15・P23で土地の高さが色分けされていること、断面図の様子を読み取る。(東書 3・4下 P65でも可)
○ワークシートに断面図を書く
・書き方を丹念に指導する。色を塗ったり、線を引いたりする作業を一つずつ確認する。

山を作り、切って紙に写す。



粘土などで、立体に表しながら学習してもよいでしょう。

社会科

日本の水産業 地図や資料を関連付けて読み取る活動を取り入れましょう

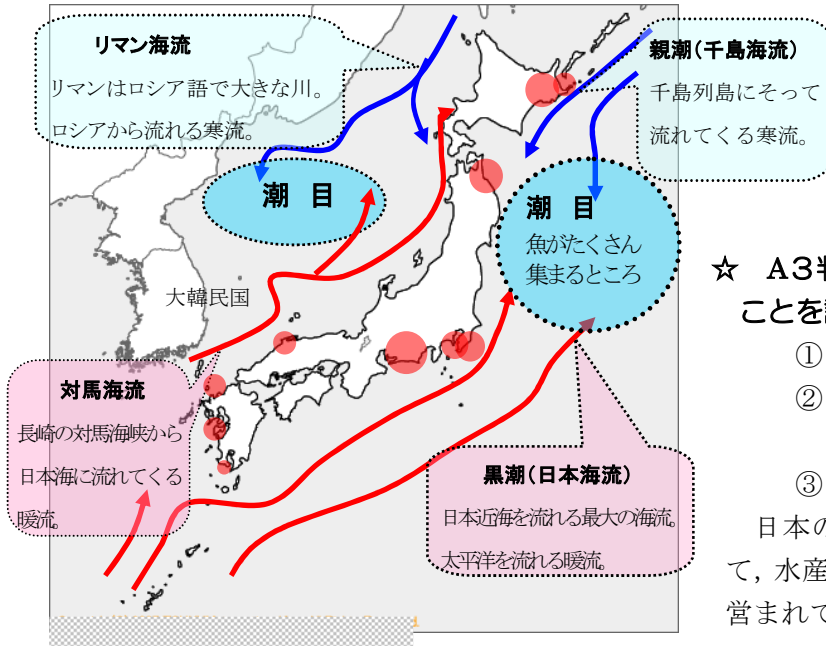
1 出題のねらい

日本列島を取り巻く四つの海流について理解している。

- 2 正答率が低い要因 (2 (3) ①対馬海流 正答率 30.2% 期待正答率 60.0%)
(2 (3) ②親潮 正答率 45.4% 期待正答率 60.0%)

本問題は、地図を用いずに、文章に当てはまる海流を4つの選択肢から選ばせるものである。「日本海を北へ向かって流れる暖流」(43.3%の児童が日本海流と誤答)の設問は特に正答率が低かった。

3 要因を踏まえた指導上の留意点



日本の水産業の様子や特色をとらえるために、地図やグラフ資料を読み取り、分かったことや自分の考えを白地図にまとめる活動を取り入れましょう！

☆ A3判の近隣諸国も入った白地図に、次のことを調べてまとめさせる。

- ① 主な漁港，漁獲量
- ② 4つの海流の流れ方
(潮目についても触れる。)
- ③ 大陸棚，200海里水域

日本の近海の白地図に書き込む作業を通して、水産業は自然環境と深いかかわりをもって営まれていることに気付かせる。

日本の工業地域 日本の工業生産の現状や特色を具体的に調べましょう

1 出題のねらい

日本の工業地帯・工業地域について理解している。

- 2 正答率が低い要因 (5 (3) 正答率 50.4% 期待正答率 70.0%)

日本の工業地帯・工業地域の分布についての理解が不十分である。

3 要因を踏まえた指導上の留意点

分布図や統計資料を活用して、日本全体の工業生産の特色や現状をとらえさせることが大切である。例えば『工業生産と工業地域』を学習した後、『自動車をつくる工場』を学習するなど、小単元を入れ替えて指導することなども検討したい。

まずは・・・
白地図に書き込みます！

○都道府県の位置を確認
京葉工業地域・・・東京・千葉
阪神工業地帯・・・大阪・神戸
瀬戸内，東海，中京など，いろいろな区分があることも押さえます。

次に・・・
特色について調べます！

○工業の種類
(金属，機械，石油化学，
食料品などの分類)
○工場数や規模，生産額
○分布や立地
運輸と貿易につなげましょう！

気づいたこと！

- ・生産額は中京工業地帯がと最も多い。
- ・その中で，機械工業の占める割合が大きい。

学習課題
中京工業地帯にある大きな自動車工場について調べよう！

社会科

島原・天草一揆 出来事が起きた場所をその背景と関連付けながら調べさせましょう

1 出題のねらい

島原・天草一揆について理解している。

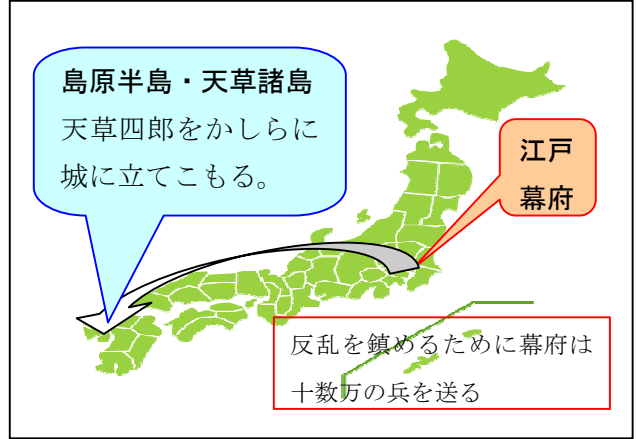
2 正答率が低い要因 ([6] (1) 正答率 37.6% 期待正答率 75.0%)

本問題は島原・天草一揆の場所を、地図の選択肢から選ばせるものである。選択肢から東京、京都を選んだ児童が多く、歴史的事象と地図上の位置の確認が十分でなかったと考えられる。

3 要因を踏まえた指導上の留意点

歴史的事象を地図と関連付けて学習しましょう。

- ① 事件が起きた、島原(長崎)・天草(熊本)、さらに江戸幕府の動きなど、関連する出来事も地図で確認すると知識が定着するものと思われる。
- ② 歴史年表や地図の教室掲示など、学習環境を整備することが大切である。



日清・日露戦争と工業の発展 大切な出来事を整理して指導しましょう

1 出題のねらい

日清戦争後の、日本の工業の発展について理解している。

2 正答率が低い要因 ([6] (3) 正答率 13.3% 期待正答率 40%)

年表から日清戦争と日露戦争の間の出来事を答える問題である。選択肢から、韓国併合を選んだ児童が34.5%、満州事変を選んだ児童が37.3%おり、それぞれの出来事を時代の流れと結び付けてとらえられていないことが考えられる。

3 要因を踏まえた指導上の留意点

小单元「世界に歩み出した日本」で押さえないことがらを、フローチャートなどにまとめて整理しましょう。

